

令和元年度 鴨居中学校 「全国学力・学習状況調査」の結果について

今年の4月全国一斉に、中学3年の生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。これは、全国的な生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証、また、学校における生徒の教育活動の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としたものです。 つきましては、本校生徒の学力調査の結果と課題について保護者の皆様にお知らせいたします。

【生活習慣や学習環境に関する調査について】

「学校の規則を守っている」「朝食を毎日食べている」などの項目は高い数字が出ていた。「自分にはよいところがある」のポイントは決して高くないが、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」のポイントが高かったのは喜ばしいことである。

【国語科より】

全国・県の平均正答率を1ポイントではあるが上回っているのが、読解力であった。具体的には、物語の人物の描写を捉える、説明的文章に書かれている情報を整理する力である。

ただ、全体的には、基本的な問題は2ポイント、活用的な問題は6ポイント程度下回っている。その中でも顕著なのは、語句の意味を正確に理解できていない点である。これは身についた語彙の少なさが原因の一つであると考えられる。様々な表現に触れ、語彙を増やすとともに、語句を文脈の中で適切に使える力をつける必要がある。

【数学科より】

基本的・活用的な問題ともに、全国・県に比べて5～6ポイント下回っている。細かく見ていくと、全領域において全国・県の平均正答率を下回っており、基本的な計算方法が分かっていないことが考えられる。計算練習をより多く行い、計算力を向上させていくことがまずは必要であるので、授業において問題演習を行っていききたい。



【理科より】

全体での正答率は、全国・県の平均を4ポイント下回っている。分野ごとでは、生物的領域は全国・県の平均とほぼ同じ正答率であったが、物理的領域・化学的領域・地学的領域の3分野ではすべて下回った。特に、化学的領域は約7ポイント下回った。問題形式では、記述式の問題の正答率が全国・県の平均と比較して最も下回っていた。

割合の概念や計算、文章の読解など、基本的な力がまだ不足しているため、粘り強く指導したい。また、問題演習の時間もできる限り授業に取り入れていきたい。

平均正答率 (%)					
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
鴨居中	74	56	61	42	62
横浜市との差	-2	-7	-6	-8	-4
横浜市	76	63	67	50	66
全国	76	61	66	47	66